

# エントラ



笑福亭 たま

岡村隆史さんのラジオの発言は謝罪すべきだったのだろうか？ 岡村さんの趣旨は「コロナ終息後、お金に困った美人が風俗嬢になるから、それが楽しみ」という個人の予想と計画の発表でしかない。

もちろん、これを不快に感じるのも自由だし、誰かが風俗嬢になるのも自由だ。しかし、この発言の問題は、貧困者が「本意ながら」何かしなければならぬという社会の貧困問題であり、それは岡村さんのせいではない。その残酷な現状において岡村さん個人が未来予想と欲望の最適化を述べただけで犯罪ではない。(一)ここで問題意識を感じた

## ■ ボヤける貧困問題 ■

なら、貧困問題を解決するようになら、政治家に言うべき話で、岡村さんを非難するのはお門違いだ。もちろんその発言について私個人としては悲しい気持ちにはなるが…。

また蓮舫氏の「高卒になら」発言も謝罪すべきでなかったと思う。蓮舫氏の発言は「本意ながら貧困のために大学を辞めざるを得ない人がいる」という趣旨である。決して「高卒が悪い」と言うて話ではない。つまり、これも貧困問題だ。ネットで「高卒で悪かったなあ！」という発言はあくまでギャグだ。また「高卒の人におわびを…」と言つのもコントになつてしま、深刻な貧困問題がボヤける。

結局、自ら進んで風俗嬢や

## 非難やめ 国に訴えよう



テレワークをする筆者

われに言うのはお門違いだ。あくまで「国民の感染予防のために補償と規制を含んだ外出制限」を政府に提言すべきであり、われわれの「根性」に働きかけられても困る。

高卒になるのは全く問題ない。問題は「貧困のために本意な行動」を社会的に取らざるを得ない人が発生することなのだ。

三月頃、まだ政府が補償のない自粛要請を始めた時にYOSHIKIさんが国民に

「今はライブに行かず、家にいよう」みたいな発言をツイッターでしていた。思わず私は「そらアンタはお金あるからええわ！」と思った。これも貧困問題だ。そもそもYOSHIKIさんが当時のわれ

野党議員が緊急事態宣言下でキャバクラに行ったのも違法でないなら、その個人を糾弾するのはお門違いだ。あくまで各個人の行動を法的に制限するシステムを作るように政権与党に提言すべき話だ。

今回、このコラムにギャグが少ないと非難する人がいたら、それは私ではなく、中日新聞に…って、それは違うか？ この頃、私のギャグの発想も貧困問題で悩んでいる。(落語家)次回掲載は六月十一日)